１　議　事　日　程

〔令和３年太宰府市議会　決算特別委員会〕

令和３年８月25日
午前 11 時 00 分
於　全員協議会室

日程第１	認定第１号	令和２年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について
日程第２	認定第２号	令和２年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
日程第３	認定第３号	令和２年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
日程第４	認定第４号	令和２年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
日程第５	認定第５号	令和２年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について
日程第６	認定第６号	令和２年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について
日程第７	認定第７号	令和２年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

２　出席委員は次のとおりである（１８名）

委員長	門田直樹　議員	副委員長	上　　疆　議員
委　員	柳原荘一郎　議員	委　員	宮原伸一　議員
〃	船越隆之　議員	〃	徳永洋介　議員
〃	笠利　毅　議員	〃	堺　　剛　議員
〃	入江　寿　議員	〃	木村彰人　議員
〃	小畠真由美　議員	〃	原田久美子　議員
〃	神武　綾　議員	〃	長谷川公成　議員
〃	藤井雅之　議員	〃	橋本　健　議員
〃	村山弘行　議員	〃	陶山良尚　議員

３　欠席委員は次のとおりである

な　し

４　太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（１２名）

市長	楠田大蔵	副市長	清水圭輔
教育長	樋田京子	総務部長	山浦剛志
市民生活部長	中島康秀	健康福祉部長	田中　縁
都市整備部長	髙原　清	経営企画課長	佐藤政吾
国保年金課長	山口辰男	介護保険課長	立石泰隆
上下水道課長	田中潤一	上下水道施設課長	古賀良平

５　職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（３名）

議会事務局長	木村幸代志	議事課長	花田善祐

書　　　　記　　井　手　梨紗子

開会　午前11時00分

〜〜〜〜〜〜〜〜〜 ○ 〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○委員長（門田直樹委員）　ただいまから決算特別委員会を開会いたします。

本日の決算特別委員会は、認定第１号から認定第７号までについて、各所管部長からの説明にとどめたいと思います。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜 ○ 〜〜〜〜〜〜〜〜〜

日程第１　認定第１号　令和２年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員）　それでは、日程第１、認定第１号「令和２年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（山浦剛志）　認定第１号「令和２年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

資料といたしましては、事務報告書の決算の概要に沿って説明をさせていただきます。

なお、説明の都合上、決算額は1,000円単位とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

初めに、１ページの会計別決算状況をご覧ください。令和２年度の一般会計の決算額は、歳入総額342億3,240万1,000円、歳出総額328億6,232万2,000円となっております。参考までに、これを前年度と比較いたしますと、歳入では84億9,592万7,000円、33％の増、歳出では78億4,596万3,000円、31.4％の増となりました。

次に、２ページをご覧ください。こちらに普通会計決算の概略を載せておりますが、これからの説明につきましては、一般会計に住宅新築資金等貸付事業特別会計を含めました普通会計の数値になりますので、あらかじめご了承願います。

歳入歳出差引き額は13億7,321万円の黒字となりまして、ここから繰越明許費等による翌年度に繰り越すべき財源8,211万3,000円を差し引きますと、実質収支額として12億9,109万7,000円の黒字決算となっております。

昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により市民の生活は厳しく制限され、また本市の主要産業であります観光産業が壊滅的打撃を被るなど、事業者におきましても事業継続が非常に困難な年となりました。そうしたこともありまして、令和２年度は、市民の生活の下支えや事業者の皆様の事業継続支援など、新型コロナウイルス対策として様々な事業を実施してまいったところでございます。執行に当たりましては、あらゆる補助メニューを積極的に活用しつつ、歳出の見直しや、限られた財源の中で事業の効果的、効率的な推進に努めたほか、歳入増を目指して、ふるさと納税の返礼品の拡充やクラウドファンディングなどにも取り組んでまいりました。

それでは、３ページ以降に記載しております決算の内訳をご説明いたします。

まず、３ページの歳入からご説明いたします。

歳入全体の決算額は342億3,635万7,000円で、前年度より84億9,817万円、33％の増となっております。主な要因は、もちろん新型コロナウイルス対策に係る国県支出金の増額でございますが、地方消費税交付金の増、ふるさと納税の飛躍的な増加などが上げられます。

次に、市税の内訳をご説明いたします。

４ページをご覧ください。市税の決算額は84億4,106万7,000円で、前年度と比較いたしますと5,206万6,000円、0.6％の増となっております。主な要因といたしましては、新型コロナウイルスの影響により法人市民税や歴史と文化の環境税などが大きく減額となったものの、令和元年の収入が基準となる個人市民税が堅調な伸びを見せ、増額となったほか、固定資産税や都市計画税などが増加したことなどが上げられます。

５ページをご覧ください。こちらには一般財源の状況を載せております。一般財源全体といたしましては171億6,553万7,000円で、前年度から13億59万7,000円、8.2％の増となっております。主な要因といたしましては、地方消費税交付金のほか、ふるさと納税による寄附金の増、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が交付されたことにより国庫支出金が増となった一方で、臨時財政対策債に当たる市債の借入れの減額や繰越金の減額などが上げられます。

なお、６ページには、歳入を自主財源と依存財源に分けて掲載をいたしております。自主財源では、分担金及び負担金や使用料及び手数料、また繰越金の減があった一方、市税やふるさと納税による寄附金、基金からの繰入金が増となり、自主財源は前年度に比べ、増額となりました。依存財源では、市債の借入れを抑えたことによりまして減となった一方で、地方消費税交付金が増となったことや、新型コロナウイルス対策に係る国県支出金が大幅に増加したため、依存財源全体として前年度に比べ、大幅増となりました。これらの結果、歳入合計に占める自主財源の割合は、令和元年度の42.8％から令和２年度は32.5％と、例年に比べ、大きく変動する結果となっております。

以上で歳入の状況の説明を終わらせていただきます。

次に、歳出の状況をご説明いたします。

７ページをご覧ください。歳出全体の決算額は328億6,314万7,000円で、前年度比78億4,590万円、31.4％の増となっております。内訳を目的別に見ますと、新型コロナウイルス対策によりまして、特別定額給付金により総務費が71億3,552万8,000円、240.1％の増、子育て世帯臨時特別給付金やひとり親世帯臨時特別給付金などにより民生費が４億649万4,000円、3.8％の増、がんばろう令和支援金やプレミアム付地域商品券など各種経済対策により商工費が３億8,788万7,000円、95.3％の増となっております。また、教育費におきましても、小・中学校の大規模改造事業等が前年度に比べ、減少したものの、小・中学校の１人１台端末整備などにより１億4,488万8,000円、4.1％の増となっております。一方で、令和２年度は大きな災害、被害がなかったため、災害復旧費が１億3,015万4,000円、99.6％の減、公債費残高の減少

により公債費が１億3,737万円、5.1％の減となっております。

次に、８ページには、歳出を性質別に分けて掲載をいたしております。義務的経費の中で、扶助費やその他の経費の中の補助費等は、新型コロナウイルス対策に係る各種給付金や市民、事業者の方々に対する各種経済対策に係る経費によりまして大きく増加したものであります。また、義務的経費のうち人件費は、会計年度任用職員制度の開始などにより４億5,859万2,000円、15.7％の増、投資的経費では普通建設事業費が、令和元年度に比べ、大規模な建設事業が減少したことから７億1,953万5,000円、26.4％の減となっております。その他の経費では、物件費は、令和元年度まで含まれておりました臨時嘱託職員に係る経費が会計年度任用職員制度の開始により減となりましたが、小・中学校１人１台端末の整備などによりまして３億9,717万9,000円、10.9％の増となっております。

以上で歳出の説明を終わらせていただきます。

次に、本市の財政状況についてご説明をいたします。

10ページをお願いいたします。10ページには、経常収支比率の推移を載せております。経常収支比率は財政構造の弾力性を示す指標の一つでございますが、令和２年度は94.7％で、前年度から0.6ポイント上昇しております。主な要因といたしましては、会計年度任用職員制度が開始されたことによります人件費の増加などが上げられます。

次に、11ページに健全化判断比率を載せております。健全化判断比率は、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の４指標から成ります。本市の令和２年度健全化判断比率は、一般会計等の実質収支が黒字であるため、実質赤字比率の表示はなく、また公営事業会計も含めた実質収支の合計でも黒字であるため、連結実質赤字比率の表示もございません。一部事務組合まで含めました実質公債費比率につきましては2.2％となっておりまして、昨年より0.8ポイント上昇しておりますが、地方公社や第三セクターなどまで含めた将来負担比率では、市債残高など将来負担額から充当可能財源を引きますとマイナスになりますので、負担比率の表示はございません。したがいまして、11ページの表からもお分かりのとおり、太宰府市の財政状況は全て早期健全化基準及び財政再生基準以下であるため、健全化法に基づきます財政健全化計画及び財政再生計画の策定は不要でございます。

12ページ、13ページをお願いいたします。市債残高と基金残高の推移をグラフで載せております。令和２年度中の市債発行額は15億6,041万3,000円で、市債残高は、借入れの抑制に努めたこともありまして、前年度より９億1,170万7,000円減少いたしまして218億5,425万3,000円となっております。市債残高を分析いたしますと、このうちの64％、約141億円は後年度に普通交付税として交付される額でございまして、また16％、約34億円が史跡地公有化の償還補給金などとして補助金であがなわれます。よって、起債残高のうち市の実質負担額、いわゆる真水部分は20％、約43億円ということになってまいります。一方、令和２年度末の基金残高につきましては、公共施設整備基金や地域福祉基金等に積立てを行ったものの、増加する社会保障費の財源や新型コロナウイルス対策に係る各種施策の財源として地域福祉基金や財政調整資金

を取り崩し、結果、前年度より３億2,030万円の減で49億1,374万2,000円となっております。

以上、簡単でございますが、一般会計及び普通会計の歳入歳出決算について概要を説明いたしました。詳細につきましては、配付させていただいております決算書並びに事務報告書、監査意見書等を参照していただければと考えております。

よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員）　説明は終わりました。

～～～～～～～～ ○ ～～～～～～～～

日程第２　認定第２号　令和２年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員）　次に、日程第２、認定第２号「令和２年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（中島康秀）　認定第２号「令和２年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

資料につきましては、決算書の247ページから278ページ、事務報告書は70ページから71ページ、136ページ、決算審査及び基金の運用状況審査意見書は35ページから37ページ、51ページ、54ページとなっております。

初めに、本市国民健康保険の加入状況についてでございますが、令和２年度平均加入世帯数は9,303世帯で、前年度と比べ、73世帯、0.8％の減、平均被保険者数は１万4,512人で、前年度と比べ、288人、1.9％の減となっております。

続きまして、決算の状況についてご説明申し上げます。

決算書の248ページ、249ページをお願いいたします。歳入の決算額につきましては、歳入総額68億4,672万4,993円となっておりまして、前年度に比べ、３億257万539円、4.2％の減となっております。

決算書の250ページ、251ページをお願いいたします。歳出の決算額につきましては、歳出総額67億5,966万8,293円となっておりまして、前年度に比べ、１億6,032万7,271円、2.3％の減となっております。歳入から歳出を引きました差引き残額は8,705万6,700円の黒字決算となっております。

次に、歳入の主なものについて、事項別明細書にてご説明申し上げます。

254ページ、255ページをお願いいたします。１款国民健康保険税でございますが、14億4,070万9,993円でございまして、前年度に比べ、2,223万4,140円、1.5％の減となっております。

254ページ下段から257ページをお願いいたします。２款県支出金でございますが、45億827万4,000円でございまして、前年度に比べ、３億5,637万8,610円、7.3％の減となっており

ます。

４款繰入金でございますが、６億3,545万2,342円でございまして、前年度に比べ、3,629万1,373円、5.4％の減となっております。

次に、歳出の主なものについて、事項別明細書にてご説明申し上げます。

266ページから269ページをお願いいたします。２款保険給付費でございますが、43億4,648万5,145円でございまして、前年度に比べ、４億923万2,202円、8.6％の減となっております。

268ページ下段から271ページをお願いいたします。３款国民健康保険事業費納付金でございますが、19億8,801万8,979円でございまして、前年度に比べ、１億2,276万6,375円、6.6％の増となっております。

270ページ下段から275ページをお願いいたします。５款保健事業費でございますが、6,903万9,305円でございまして、前年度に比べ、420万5,529円、6.5％の増となっております。

以上が決算の概要でございます。

昨年度に引き続き黒字決算となりましたが、国民健康保険制度につきましては、被用者保険と比べまして年齢構成、医療費水準が高く、所得水準が低いという構造的な課題によりまして、依然として非常に厳しい状況が続いております。本市としましては、引き続き保険税の収入確保に努めるとともに、医療費適正化の取組や市民の健康づくりに資する取組をはじめとする保健事業等を行うことで、国民健康保険財政の健全な運営に努めてまいります。

よろしくご審査いただきまして認定賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員）　説明は終わりました。

～～～～～～～～ ○ ～～～～～～～～

日程第３　認定第３号　令和２年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員）　次に、日程第３、認定第３号「令和２年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（中島康秀）　認定第３号「令和２年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

資料につきましては、決算書の279ページから290ページ、事務報告書では72ページ、137ページ、決算審査及び基金の運用状況審査意見書は37ページから39ページ、51ページとなっております。

決算書の280ページ、281ページをお願いいたします。歳入の決算額につきましては、歳入総額13億1,473万8,069円となっておりまして、前年度に比べ、2,922万6,392円、2.2％の増とな

っております。同ページ、歳出の決算額につきましては、歳出総額12億6,154万6,018円となっておりまして、前年度に比べ、2,423万6,221円、1.9%の増となっております。歳入から歳出を引きました差引き残額は5,319万2,051円の黒字決算となっております。

次に、歳入の主なものについて、事項別明細書にてご説明申し上げます。

282ページ、283ページをお願いいたします。１款保険料でございますが、10億5,235万5,420円でございまして、令和２年度は被保険者が9,981名と前年度より226名増加したこともあり、前年度に比べ、2,627万2,710円、2.5%の増となっております。

次に、３款繰入金でございますが、２億1,300万5,499円でございまして、前年度に比べ、746万8,762円、3.6%の増となっております。

次に、歳出の主なものについて、事項別明細書にてご説明申し上げます。

286ページ、287ページをお願いいたします。歳出全体の99.9%を占めます１款総務費は、12億6,050万7,048円でございまして、前年度に比べ、2,441万9,191円、1.9%の増となっております。また、総務費の中でも後期高齢者医療広域連合負担金が12億3,982万6,000円でございまして、総務費の98.3%を占めております。この広域連合負担金につきましては、事務費負担金、保険料負担金及び保険基盤安定制度負担金が含まれておりまして、内訳につきましては事務報告書の72ページに掲載をしております。

以上が決算の概要でございます。

後期高齢者医療制度につきましては、高齢化に伴う被保険者の増加及び医療費の増加などによりまして、財政的にますます厳しくなる見込みでもあります。本市といたしましても、保険者である福岡県後期高齢者医療広域連合と連携して、今後とも適正な運営に努めてまいります。

よろしくご審査いただきまして認定賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員）　説明は終わりました。

～～～～～～～～ ○ ～～～～～～～～

日程第４　認定第４号　令和２年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員）　次に、日程第４、認定第４号「令和２年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（田中　縁）　認定第４号「令和２年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」、概要をご説明申し上げます。

資料につきましては、決算書の291ページから340ページ、事務報告書は73、74ページと138ページから140ページ、決算審査及び基金運用状況審査意見書は40ページから43ページとなっております。

初めに、本市介護保険の状況についてでございますが、令和２年度末現在の第１号被保険者

は１万9,986人で、前年と比べ、250人、1.26％の増となっております。認定者数は3,396人で、前年と比べ、137人、4.20％の増となっております。

続きまして、決算の状況についてご説明申し上げます。

まず、保険事業勘定からご説明申し上げます。

決算書の294、295ページをお願いいたします。歳入の決算額につきましては、歳入総額52億5,989万9,255円となっておりまして、前年度に比べ、１億8,572万4,750円、3.7％の増となっております。

次に、296、297ページをお願いいたします。歳出の決算額につきましては、歳出総額52億3,090万5,960円となっておりまして、前年度に比べ、１億5,900万3,667円、3.1％の増となっております。歳入から歳出を差し引きました額は2,899万3,295円の黒字決算となっております。

次に、歳入の主なものにつきまして事項別明細書にてご説明をいたします。

298、299ページをお願いいたします。まず、１款保険料につきまして、65歳以上の第１号被保険者保険料でございますが、11億9,623万6,855円となっておりまして、前年度に比べ、1,701万7,416円、1.4％の減となっております。この減額の主な要因といたしましては、消費増税に伴い、低所得者の保険料の軽減強化の一部が実施されたこと、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による介護保険料の減免によるものでございます。

次に、299ページの続きから301ページまでをお願いいたします。その下、３款国庫支出金でございますが、11億2,546万6,693円でございまして、前年度に比べ、7,874万4,100円、7.5％の増となっております。

次に、300ページ中段でございます。４款支払基金交付金につきましては、40歳から64歳までの第２号被保険者保険料でございまして、各医療保険者が健康保険料と一緒に徴収しております介護保険料を、交付金として13億1,734万5,000円受け入れております。前年度に比べまして、2,781万4,192円、2.2％の増となっております。

続いて、300ページから303ページをお願いいたします。４款の下でございます。５款県支出金でございますが、７億6,791万1,546円でございまして、前年度に比べ、１億８万7,579円、15.0％の増となっております。

続いて、302ページから305ページをお願いいたします。下段の７款繰入金でございますが、８億4,946万2,175円でございまして、前年度に比べ、7,587万9,600円、9.8％の増となっております。なお、基金からの繰入れや介護サービス事業勘定からの繰入れは行っておりません。

次に、歳出の主なものにつきまして事項別明細書にてご説明いたします。

308ページから313ページをお願いいたします。まず、１款総務費でございますが、２億1,309万6,379円でございまして、前年度に比べ、889万9,402円、4.4％の増となっております。増額の主な要因といたしましては、地域包括支援サブセンターの開設に伴う職員増及び筑紫地区介護認定審査会事務局への職員派遣による増員によるものでございます。

続いて、312ページから321ページをお願いいたします。312ページ下段、２款保険給付費でございますが、47億3,996万9,284円でございまして、前年度に比べ、１億5,031万2,076円、3.3％の増となっております。

次に、320ページから329ページをお願いいたします。３款地域支援事業費でございますが、２億4,486万1,383円でございまして、前年度に比べ、843万1,547円、3.6％の増となっております。この増額の主な要因といたしましては、会計年度任用職員の人件費等の経費の増によるものでございます。また、新型コロナウイルス感染拡大により外出自粛等が続きましたので、個人でも自宅で介護予防活動が行えるように、介護予防手帳などを作成しまして、自治会や民生委員さんを通じて周知するとともに、その活用について出前講座等を行って取り組んでおります。

以上が保険事業勘定の説明でございます。

続きまして、介護サービス事業勘定についてご説明申し上げます。

決算書の334ページ、335ページをお願いいたします。歳入の決算額につきましては、歳入総額6,158万3,627円となっており、前年度に比べ、556万6,258円、9.9％の増となっております。歳出につきましては、同じページでございますが、決算額は歳出総額6,158万3,627円なっており、前年度に比べ、2,140万6,691円、53.3％の増となっております。歳入から歳出を差し引きました額は０円となっております。

次に、歳入の主なものにつきまして事項別明細書でご説明申し上げます。

336、337ページをお願いいたします。１款サービス収入でございますが、3,928万8,469円でございまして、前年度に比べ、151万4,367円、3.7％の減となっております。

次に、歳出の主なものにつきまして、同じく事項別明細書でご説明いたします。

338、339ページをお願いいたします。１款総務費でございますが、6,158万3,627円でございまして、前年度に比べ、2,140万6,691円、53.3％の増となっております。この増額の主な要因としましては、会計年度任用職員の人件費等の経費の増によるものでございます。

以上が決算の概要でございます。

介護保険制度につきましては、2025年問題として、団塊の世代の全てが75歳を迎え、独り暮らしの世帯や高齢夫婦のみの世帯、認知症高齢者が増加する見込みであることから、非常に厳しい状況でございます。本市といたしましても、地域住民の互助による活動や介護予防へのさらなる取組、関係機関等が一体となった自立支援、重度化防止の推進などに取り組むことで、介護保険財政の健全な運営に努めてまいります。

よろしくご審査いただきまして認定賜りますようお願い申し上げます。

〇委員長（門田直樹委員）　説明は終わりました。

～～～～～～～～ ○ ～～～～～～～～

日程第５　認定第５号　令和２年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員）　次に、日程第５、認定第５号「令和２年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（中島康秀）　認定第５号「令和２年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」ご説明申し上げます。

資料につきましては、決算書の341ページから350ページ、事務報告書は75ページ、決算審査及び基金運用状況審査意見書は44ページから45ページ、51ページとなっております。

決算書の342ページから343ページをお願いいたします。歳入の決算額につきましては、歳入総額が422万1,918円となっておりまして、前年度に比べ、226万6,393円の増となっております。歳出の決算額につきましては、歳出総額109万497円となっておりまして、前年度に比べ、４万28円の減となっております。歳入が増額になりました主な理由は、償還金の増額によるものです。歳入から歳出を引きました差引き残額は313万1,421円となっております。

今後の滞納解消に向けた取組といたしましては、経済状況が厳しい中、償還計画相談を行い、計画的、継続的な返済を促し、滞納解消に努めてまいります。また、返済困難者に対しましては、県や委託弁護士と相談し、県の助成金制度を活用し、滞納整理を行ってまいります。

よろしくご審査いただきまして認定賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員）　説明は終わりました。

～～～～～～～～～ ○ ～～～～～～～～～

日程第６　認定第６号　令和２年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

○委員長（門田直樹委員）　次に、日程第６、認定第６号「令和２年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

都市整備部長。

○都市整備部長（髙原　清）　認定第６号「令和２年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

水色の水道事業の決算書に基づき、説明させていただきます。

まず、４ページをお願いいたします。建設工事の概要につきましてですが、こちらのほうに掲載しているとおりでございます。令和２年度は、配水管の新設工事３件、布設替え工事７件、配水施設改良工事３件、浄水施設改良工事１件を行っております。

次に、６ページをお開きください。業務についてでありますが、(1)業務量の表の２段目の年度末給水人口ですが、前年度に比べて217人増加し、伸び率は0.4％となっております。普及率につきましては、前年度から0.3％上昇し、84.5％となっておりまして、今後とも引き続き普及率向上への取組は重要と考えております。また、年間給水量は2.8％の増、その下の水道料金の対象となります年間有収水量につきましても同じく2.8％の増となっております。一番

下の有収率でございますが、前年度と同じ93.9％となりました。次に、供給単価は205.92円、給水原価は188.09円となっております。

次に、10ページをお願いいたします。企業債につきましては、令和２年度発行額は０円で、１億2,669万425円を償還いたしまして、令和２年度末現在で６億7,762万5,836円となっております。

続きまして、16ページをお願いいたします。令和２年度の損益計算書ですが、下から３行目をご覧ください。当年度の純利益は１億8,774万7,349円となっており、一番下の当年度未処分利益剰余金は11億2,247万457円となっております。

続きまして、18ページをお願いいたします。令和２年度の剰余金処分計算書（案）でございますが、先ほどの当年度未処分利益剰余金11億2,247万457円が一番右上の欄に表示されておりますが、このうち１億5,027万6,207円を資本金に組み入れ、3,747万1,142円を建設改良積立金に積み立て、残りの前年度と同額の９億3,472万3,108円を次年度に繰越しとしております。

なお、19ページ以降に関係諸表を添付しておりますので、後ほどご参照いただきますようお願いいたします。

説明は以上となります。

審査のほどよろしくお願いいたします。

〇委員長（門田直樹委員）　説明は終わりました。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜 ○ 〜〜〜〜〜〜〜〜〜

日程第７　認定第７号　令和２年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

〇委員長（門田直樹委員）　次に、日程第７、認定第７号「令和２年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

都市整備部長。

〇都市整備部長（髙原　清）　認定第７号「令和２年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

黄色の下水道事業の決算書に基づき、説明させていただきます。

まず、５ページをお願いいたします。建設工事の概要でございますが、都府楼南、五条、水城地区などの汚水管整備などを実施いたしております。

次に、６ページをお願いいたします。業務量でございますが、普及率は99.6％、水洗化率は97.7％、水洗化人口普及率は97.3％となっており、令和元年度とほぼ同じ状況でございます。整備率につきましては88.3％となり、今後とも計画的な整備に努めていきたいと考えております。有収水量につきましては、全体として1.6％の増となっております。その下の使用料単価は166.29円、処理原価は108.29円となっております。

次に、９ページをお願いいたします。イの企業債につきましては、令和２年度には１億

3,800万円を発行し、６億2,799万1,800円を償還いたしまして、令和２年度末現在高は58億6,075万2,636円となっております。企業債の残高につきましては、今後も減少していく見通しで計画をしております。

次に、16ページをお願いいたします。令和２年度の損益計算書ですが、下から４行目をご覧ください。当年度の純利益の額は約４億4,801万5,773円となっており、当年度未処分利益剰余金は７億7,872万4,420円となっております。

次に、18ページをお願いいたします。令和２年度の剰余金処分計算書（案）でございますが、先ほどの当年度未処分利益剰余金が一番右上の欄に表示をされております。このうち５億3,482万431円を資本金に組み入れまして、１億6,254万2,605円を減債積立金に積み立て、残りの前年度と同額の8,136万1,384円を次年度に繰越しとしております。

19ページ以降に関係諸表を添付しておりますので、後ほどご参照いただきますようお願いいたします。

説明は以上です。

審査のほどよろしくお願いをいたします。

○委員長（門田直樹委員）　以上で説明は終わりました。

質疑については、９月13日及び９月14日の決算特別委員会で行います。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜 ○ 〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○委員長（門田直樹委員）　本日はこれをもちまして散会します。

散会　午前11時43分

〜〜〜〜〜〜〜〜〜 ○ 〜〜〜〜〜〜〜〜〜